

開講日	2020年秋期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	Web講義
コースディレクター	名古屋市立大学・医学研究科・脳神経生理学 教授 飛田秀樹 / 名古屋市西部地域療育センター 所長 宮地泰士		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】 発達障害に対する理解、指導法の習得、事例研究、などが進み、勉強熱心な関係者が多い。最近では教育現場の教員や療育にたずさわる関係者の中には、発達障害の医学的知識を知りたい、薬の作用メカニズムを知りたい、脳の仕組みを知りたい、などの声も多くなってきた。本講座では、ADHDを中心に発達障害の医学/生物学的な知識を実験結果からの裏打ちから深め、今後の発達障害児の教育/療育の幅を広げられることを目指す。</p> <p>【期待される成果】 運動や行動の脳のしくみ、発達障害の診断から病気の医学的理解、環境要因の生物学的影響などについて学び、受講後のさらなる自己勉強がよりスムーズとなるとともに、実際の教育/療育現場での対応法の応用を考える手助けとなる。</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	web公開	講師(所属)
脳のしくみと 病因を知る	1	神経の基礎から行動のしくみを学ぶ	脳は神経、神経膠細胞、希突起膠細胞から構成される。胎児期に基本が作られ、20歳頃までゆっくり成長している。神経系の発達と動物としての神経系の基本的な働きを学ぶ。		教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学
	2	発育期の腸脳連関の重要性	腸内フローラは生後に作られ、その状態が精神と関係があることが分かってきました。我々の研究からも”発育期のうま味”が攻撃性減少に関与することが明らかになりました。		教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学
	3	自閉症の科学	近年、自閉症の成因メカニズムを探る分子生物学的研究が盛んに行われています。そのような研究ではどのようにアプローチし、どのような知見が得られているのかを学びます。		教授 松崎秀夫(特別演者) 福井大学 子どものこころの発達研究センター
	4	乳幼児の注意ネットワークの発達	注意のネットワークは、脳の発達にともなって発達していきます。その育みに、周囲の人との相互作用はどのような影響を及ぼすのでしょうか?		教授 中川敦子 名古屋市立大学・人間文化研究科 心理教育学科
	5	脳と環境物質の関連を知る	近年、有機リン系殺虫剤がADHDの有病率と関連すると米国の研究者が報告し、話題になりました。微量な化学物質の体内取り込みと発達障害に関する最新知見を学びます。		教授 上島通浩 名古屋市立大学・医学研究科・ 環境労働衛生学
発達障害の発見 から診断へ	6	発達検査の解釈とその応用	今回は学齢児によく行われる発達検査の1つであるWISC-III、IVを中心に、発達検査の結果をどのように解釈し、実際の指導に活かすのかを学びます。		医師 永井幸代 名古屋第二赤十字病院 小児科
	7	発達障害の診断	ADHDをはじめとする発達障害それぞれの特徴や診断基準、それぞれの違いや鑑別診断について学びます。		医師 福原里美 名古屋市立大学病院小児科 (里童こころと育ちのクリニック)
発達障害の 病態を知る	8	薬を知る: 薬の効き方から副作用まで	ADHDや発達障害の治療で用いられる薬が、どのように作用するのかについて学びます。さらに、その副作用についての理解を深め、適切な服薬へのアドバイスを可能にすることが目標です。		医師 大橋 圭 海南病院 小児科
	9	ADHDの診断と治療効果を画像で知る	ADHDへの薬物療法が国内でも始まり、その治療効果を画像検査で評価することが可能となりました。長期的な厳格体罰の脳への影響についても学びます。		特命助教 水野賀史 福井大学医学部付属病院 子どものこころ診療部
	10	自閉スペクトラム症を知る: 脳画像によるADHDとの対比から	自閉スペクトラム症の中核症状である対人相互作用やコミュニケーションの障害の脳病態が、MRIなどの脳画像を用いた研究により分かってきました。ADHDでの不注意や衝動性の障害の脳病態と対比して学びます。		教授 山末 英典 浜松医科大学 精神医学
	11	発達障害と遺伝研究	近年、遺伝研究の発展とともに自閉症やADHDなどの発達障害の遺伝研究が盛んに行われています。最近の発達障害の遺伝研究について学びます。		医師 大橋 圭 海南病院 小児科
	12	大人の発達障害を知る	ADHDは発育期の子供だけの問題ではありません。最近では、大人のADHDも注目されています。ライフステージ毎の発達と療育も意識してみましよう。		講師 山田敦朗 名古屋市立大学・医学研究科 精神・認知・行動医学
教育/療育の 実践へ	13	より良い教育/療育へ向けた課題を知る	教育現場および行政サイドの立場から発達障害に関わった経験者からのお話を伺い、より良い将来の教育/療育に向けた現状とその課題を考えましよう。		校長 宮田純子 名古屋市立六郷北小学校
	14	ほめて育てる: 理論と実践	発達障害児に限らず、ほめて育てることは子どもにとって大切なことです。そのポイントや注意点を学びます。		所長 宮地泰士 名古屋市西部地域療育センター
	15	新たな教育/療育を考える: グループディスカッション	本講座のまとめを、ディスカッション形式で行います。生物学的な理解を深めたのち、どのように教育/療育に繋げることができるのでしょうか?		教授 飛田秀樹 名古屋市立大学・医学研究科 脳神経生理学